

ミヤマサナエ

Anisogomphus maacki

兵庫県：要調査

環境省： —

種の概要

腹長39～41mm、後翅長31～33mm程度。腹部は第7節から第9節までが広がり、第7節までは正中線に沿って黄色条がある。平地から丘陵地の砂泥底の河川中下流域に生息する。成虫は6月～10月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

姫路市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、三田市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、神河町、上郡町、佐用町、香美町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			○

特記事項

Cランクから要調査種に変更

兵庫県下では非常に会うのが難しくなったトンボである。ときどき羽化殻が集団で見つかったりすることがあるが、成虫はたいがい1、2頭という少数で見つかる。兵庫県内における生息実態がまだ十分解明されているとはいえない。こういった生息環境が最適かなど、さらなる調査が必要な種である。

保護上の留意点